

## 衛生組合議会一般質問

2番、武井誠です。通告にしたがって、施設管理について一般質問を行います。内容は、東日本大震災の影響と今後の対策についてです。

質問に先立ち、東日本大震災で亡くなられたたくさんの方々のご冥福をお祈りし、また被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

次世代に安心・安全で持続可能な社会を引き継ぐため、この大震災、とりわけ福島第一原発事故から、私たちはたくさんの方のことを学ばねばなりません。

原子力発電所そのものが放射性廃棄物の処理方法が未解決のまま推進されている「トイレのないマンション」のようなものだと言われていたのですが、それはさておき、本議会が直接かかわる被災地の下水、し尿の処理は、現在どうなっているのでしょうか。放射能の汚染についてはどこまでチェックされているのでしょうか。

マスコミでは、あまり報道されませんが、かなり深刻な状況、すなわち、環境への影響や十分な安全チェックのなされぬまま海に流れこまざるをえないという情報が届いています。付言すると、浄化槽と下水道では、復旧に要する時間も費用も大きく異なると言ったことも指摘されています。

また、汚泥の処理が遅延として進まないことは今朝のNHKニュースでも報道されていました。

別の言い方をすれば、震災によって危機管理を含む下水行政の重要性や、今後のあるべき姿が（古い言い方になりますが）昔の写真のネガのようにあぶりだされているとも言えるのではないのでしょうか。これを、どう読み取るか、私たちの力量が問われていると感じます。

私たちの地域の下水排水、し尿処理を今後どうしていくのか、長期、中期、短期的な計画・方針をしっかりと立てることが緊急に求められています。

その取り組みに役に立つことを期待しつつ、質問をいたします。

1点目、地震、及びその後の計画停電による被害等はどうであったか、

2点目、放射能の影響はどうであったか、測定はしたのか、

以上2点を1回目の質問とします。

### 執行部答弁要旨

- ・職員、委託社員の安否確認→異常なし
- ・全施設の被害状況の確認→15時24分に報告あり  
投入棟、主処理棟、高度処理棟、ほとんど被害なし。
- ・2市3町に連絡→電話回線の通話制限のため完了したのは16時30分

- ・委託先（株）クリタス社員に自宅待機を指示し17時30分から順次帰宅。
- ・計画停電、第4グループ。→停電時間中搬入停止連絡。→実際は停電なし。
- ・6月28日環境省から焼却灰の当面の取り扱いについて事務連絡
- ・対象は下水道汚泥で、本組合施設を直接拘束するものではない。
- ・これに準じた取扱いをすることが重要であると認識。
- ・委託先に、測定項目に放射線量追加を依頼、快諾。
- ・6月30日計測、7月5日に報告。
- ・焼却灰の主灰から1400ベクレル、飛灰から1300ベクレル検出。
- ・放流水からは不検出。
- ・国の下水道汚泥の場合は8000ベクレル。
- ・現在のところ支障なし。

再質問をします。

緊急時の対応が、怠りなく行われたと理解します。また、放射線量の測定を『指示』を待つことなく行ったことについては高く評価したいと思います。

ところで、この1400ベクレル、1300ベクレルというのは安全なのでしょうか。同様に8000ベクレルという国の基準は安全なのでしょうか、これは誰にもわからないというのが、本当のところだと思います。放射能の危険性について、私たちは、前例のない、あるいは極めて少ないそういう世界に足を踏み入れてしまったのだということを、認識しなければなりません。

ここでは、電力不足を含む今後想定される様々な事柄への対策の状況と考え方について再質問いたします。

#### 執行部答弁要旨

- ・本組合は、契約電力500キロワット以上の「大口需要家」。
- ・緊急時調整契約書を締結。対応を準備。
- ・緊急時、東京電力からの依頼で20%以上電力抑制すると料金割引。
- ・汚泥焼却作業を土曜日に移行。許可業者に増量申請を水から金にお願い。
- ・放射線量の測定と監視は、今後も行っていく。

基本的な姿勢を確認できたのは、よかったと思います。ぜひその方向で進められること期待します。1点だけ、土曜移行と増量申請について許可業者の理解は得られたのか再々質問し、私の一般質問を終わります。

#### 執行部答弁

- ・快く了解していただいた。